



公明党
もとやま
本山 英子
えいこ
議員

防災について

問 台風による被害状況と被害額はどうか。

答 市長 台風9号が千葉県を直撃し、人的な被害は、強風による転倒等で軽傷者4名です。住宅の被害は、床下浸水1件、一部損壊が34件です。道路の被害は、市道への倒木184件、道路陥没が3件、それに伴う市道の通行止めが8カ所です。農林業の被害は、農作物が約1千600ヘクタール、農業関連の施設が12ヘクタールです。ライフライン被害は、一時、市内全域で1万軒近くの停電がありました。直接関係する公共施設の被害は、市庁舎玄関のトップライトが壊れたことに伴う雨漏

りがありました。小中学校、各保育園、幼稚園では、校舎の雨漏りや用具倉庫の破損等が発生しました。海の家、監視所等の施設も大変大きな被害を受けました。全体の被害額は3億7千万円程度と見込んでいます。

問 被害に遭われた方への市の今後の対応はどうか。

答 経済環境部長 農業被害関係について、県は今回の台風9号による農業被害が大きかったことから、県農業災害対策資金を発動しました。これにより市が事業主体となり、融資事業を予定しています。

問 非構造部材の耐震化が完了していない施設について、現状

はどうか。

答 教育部長 平成23年の東日本大震災を踏まえ、平成25年度から27年度にかけて国の補助金を活用し、学校関係等は改修工事を完了しました。しかし、社会教育施設の成東文化会館（のぎくプラザ）、さんぶの森文化ホール、農村環

福祉施策について

問 発達障害児への現在の取り組み状況はどうか。

答 保健福祉部長 児童福祉法に基づき、障害児通所支援事業を实

ファシリティマネジメントについて

問 現在の進捗状況はどうか。

答 総務部長 最適な財産管理による持続可能な行政経営を目指し、未利用地の処分、未利用施設の撤去、不要財産の処分等に取り組んでいます。平成23年度末と27年度末とを比較する

境改善センター多目的ホールの3カ所が、耐震化が済んでいない状況です。

問 今後の計画はどうか。

答 教育部長 今後、3館の築年数や利用状況を踏まえ、改修計画を作成し、実施していきたいと考えています。

施しています。本市では、児童発達支援事業と放課後等デイサービス事業を市社会福祉協議会へ委託し実施しています。

と、建築物は延べ床面積で6千751平方メートル減少しました。土地は、小松浜地先の日大からの寄附があったため減少はしていませんが、普通財産に限ると4千561平方メートル減少しています。今後も積極的に進めていきたいと考えていま

さんむ医療センターについて

問 施設整備等についてはどうか。

答 市長 市としても、病院側としても、将来の経営を圧迫しないように、ファシリティマネジメントの考えを取り入れた新しい整備をしていかなければいけな

市の今後の財政状況について

問 市の財政状況に見合つ、特例債または市債の残高見込みの額と考え方はどうか。

答 総務部長 合併特例債については別表（※）のとおりです。合併以前からの借り入れや、合併特例債以外の起債を含めた市債の現在の高の推移は、平成29年度の213億6千万円をピークに、年々減少傾向にあり、平成38年度には141億5千万円と見込んでいます。歳出に当たる公債費につい

いと考えています。この考え方を踏まえて計画をつくっていききたい、その中で、人材の確保は常に病院側も努力をしています。市としても最大限バックアップをしていきたいと思っています。

ても、今後減少することが見込まれています。合併特例債の借入れ期限は平成37年度までとなるので、今後予定されている大型事業の財源には、可能な限り合併特例債を有効に活用したと考えています。

※別表 合併特例債の起債状況

期間	金額	残高
平成18年～27年	93億2千万円	63億9千万円 (平成27年度末)
平成28年～37年	75億2千万円	49億5千万円 (平成37年度末見込)